



6月の歳時記(水無月/June)

6月...水月・建未月・曇月・炎陽・季夏...June bride



★ 梅雨に役立つ、おばあちゃんの知恵

梅雨は春から夏へと移るための大切な季節。梅雨ならではの苦楽も、昔の人は上手に暮らしに組み込み生活していた。梅雨と言えば「梅」。昔から梅は3毒(食毒・血毒・水毒)を断つと言われている健康食で梅酒や梅干し作りが代表的である。梅干し作りを使う赤じそも旬、しそのジュースも楽しみです。また、食中毒・食あたりを防ぐミョウガ、ショウガ、ワサビ、大葉等の薬味を活用したり、酢飯にするのも昔ながらの知恵。まな板に緑茶を掛ければ、消臭・抗菌作用でスッキリ！そして、湿気・カビ対策は壁と家具の隙間をあげ風の通り道を作って扇風機を当てたり、押し入れの中にすのこを敷くとか、湿気取りに新聞紙を活用するとか、酢で掃除して除菌する等。おばあちゃんの知恵は手軽で賢いものばかり。一寸した工夫で梅雨の暮らしも快適になります。上手に付き合しましょう。

コロナの外出自粛も相まって、年寄りから昔ながらの知恵などを聞くのも楽しいものです。きっと得意げに教えてくれるでしょう。

★「大祓(おおはらえ)は、6月30日と12月31日の2回ある！⇒犯した罪や穢れを除き去る為の祓えの行事。

6月は「夏越えの祓い」、12月を「年越えの祓い」。夏越えの祓いでは多くの神社で「茅の輪くぐり」が行われる。

これは、氏が茅草で作った輪の中を左まわり、右まわりと八の字に3回通って穢れを祓います。

★こよみ: 衣替え(1)、芒種(5)、入梅(10)、夏至・父の日(21)、



1 6月は全国労働安全週間準備月間(本週間:7/1~7)

『エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減』

今年で93回目、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的とする。

増加傾向にある高年齢者の労災防止対策をはじめ、就業構造や災害発生傾向の変化に対応することが重要。本年度は、事業者と労働者が一体となって「リスクアセスメント」を行うことにより、高齢者が安心して安全に働ける職場環境を形成する事を通じて、すべての働く人の労働災害を防止するよう呼び掛けている。

※エイジフレンドリーとは、「高齢者の特性を考慮した」を意味した言葉。

2 梅雨どきの安全衛生 『新型コロナ緊急事態宣言解除』 引続き感染予防の徹底を！

新型コロナウイルスに警戒 夏場でも感染力は衰えないことに注意！

不要不急の外出は避ける！『3密』(密閉・密集・密接)を避ける！
徹底した手洗い・消毒を行う！マスク着用でウイルスの拡散を抑制！
換気・空気除菌・加湿で所在環境の改善を行う！

熱中症に警戒 重篤化し命にかかわる為、常に注意意識を持つ！

新型コロナの予防マスク着用による熱ごもりに注意しましょう。
(汗をかき機会が減少し「暑熱順化」が出来ず、マスクもあって放熱できない)
こまめに休憩、こまめに水分補給する事。(マスクで喉の渇きが鈍るので注意)
冷房及び扇風機をうまく活用する(コロナ予防のため換気も適度に行う)

暑くて息苦しい、めまいする時などは密集しない所でマスクをとって呼吸を整え、水分補給し休む。
暑さ指数WBGTを活用し、管理監督者は作業員、作業環境、作業負荷を注視し、異常時は即刻対処できる体制を執る事。
新型コロナと症状が似ていることから医療機関の受入れに混乱を招く可能性がある為、徹底して予防を行う事。

食中毒に警戒 暑く湿気が多い季節は細菌の繁殖が活発！

菌をつけない(清潔):衛生的環境、清潔な器具・手指、防虫・防鼠等。
菌を増やさない(冷蔵):調理後すぐ食す。冷蔵保存(5℃↓)過信しない。
菌をやっつける(加熱・消毒):食材は十分加熱。調理器具は殺菌消毒する。

感電事故に注意 汗をかくと体の電気抵抗が少なくなり、感電しやすくなる。

その他の注意:濡れた床や足場に注意、保護具や衣類の不良・不具合に注意、車の運転に注意
作業行動の省略や手抜きに注意、紫外線に注意、健康管理に注意



STOP
熱中症



身につけよう 基本作業と7P意識 みんなで築く安全職場！

快適な職場に響く合言葉「健康・安全・ゼロ災害」

ご安全に！